

理事会より

参加報告

第14回 ワーカーズ・コレクティブ全国会議 in 愛知 ～協同労働で作る協同組合型地域社会づくり～



2月22～23日開催で、全国から約400名(北海道は36名)が参加。

1日目の全体会は午後からの開催で、地域と協同の研究センター専務理事 向井忍さんによる基調講演で、人口減少社会の新しい課題、レイドロー報告から2020年への到達点、コミュニティに関わる実践から見えること、協同労働の協同組合の時代をテーマに添ってお話いただきました。終了後、全国から集まったワーカーズと関係者による懇親会が開催されました。

2日目は、「労働者協同組合法」「ワーカーズ・コレクティブだからこそ」の配送「共に働く」「共にたすけあって暮らしていくことができる地域づくり」「食でまちづくり」「実態調査から描く今後のワーカーズ・コレクティブの継続と発展」「生協活動から地域活動へ」の7つの分科会で研鑽をつみました。午後は自主企画の講座や学習会、現地視察ツアーなど個人に応じた内容はさらに学びを深めました。(報告：泉)

介護保険制度学習会を開催しました

共催：市民ネットワーク北海道、北海道たすけあいワーカーズ

2021年度介護保険制度改定に向けた学習会を服部メディカル研究所長の服部万里子さん(写真)を講師に迎え、開催しました。

実施から20年が経過した制度の変遷や改定の動向についての情報、また介護保険事業の収支など新たに学ぶことがたくさんありました。要介護1、2の生活援助を外そうとする介護保険制度の後退を許さず、人と向き合い人をみるという、福祉の仕事の喜びと価値を広く知ってもらうための行動を、後押しされたような学習会でした。(報告：北海道たすけあいワーカーズ 綿谷 1/19 かでる2・7)



一緒に働きませんか？ スタッフ募集中！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

組み込み

生活クラブのデリバリーセンター(清田区)で、消費材を袋詰めする仕事です。

戸別配送

生活クラブの委託を受け、手稲区、東区、清田区の3つの配送センターから戸配組合員にお届けする仕事です。

企画・編集・事務

生活クラブのカatalogやリーフレットなどの制作(DTP)や簡易印刷、テープ起こし、事務を行っています。

子育て支援

子育て中の家庭を支える事業「保育」「親子ひろば」など、札幌市とその近郊で行っています。

食

無添加の調味料を基本に、道産・国産の素材を使いお弁当やオードブルなどを提供しています。

たすけあい

日常生活のお手伝いや、介護保険事業での訪問、デイサービスを行っています。地域サロンも開催。



起業カフェへ どうぞ！

ワーカーズの事業や起業の方法について知りたい方のために、カフェを開催しています。

資料を見たり、質問・おしゃべりをしながら、ヒントやきっかけを見つけてください。個人でもグループでも大丈夫。資料だけ欲しい…という方も大歓迎！気軽に立ち寄りください。

開催日

予約不要！

4/30(木) 5/28(木) 6/25(木)
14:00～16:00

【会場】
北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

■発行 / 特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会
〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4階 A号室
☎ 011-596-0650 FAX 011-596-0651
Email wco28@athena.ocn.ne.jp
http://hokkaido-workers.org

■発行責任 / 大熊 薫 編集責任 / 理事会 制作 / プランズEPO

■年4回発行 年間購読料 / 1000円

業種	団体数
食	6
福祉	10
子育て支援	11
学童保育	2
業務請負	2
リサイクルと環境雑貨の店	1
企画・編集	1

1986年に設立。33団体約500名が加入しています。

特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会 機関紙

特集

ワーカーズ・コレクティブは
社会的経済の担い手

「起業」する人！集まれ～！！

Wish

【ウイッシュ】

私たちは「ワーカーズ・コレクティブ」で起業しています

ワーカーズ・コレクティブとは、生活者の視点から地域で必要な「もの」や「サービス」を市民事業として事業化し、全員が出資・経営・労働する働き方です。

No. 57
2020.4 [年4回発行]

地域のファミリーを 見守り支える喜びを感じて

interview

藤井 麗美 さん

子育て支援ワーカーズ ほっぺ

札幌市厚別区大谷地東5丁目16-1-502

TEL 080-4502-2608 〈2019年設立・会員7名〉

子育て支援ワーカーズ「ほっとまむ」で副代表を務めた後、2019年3月に「ほっぺ」を立ち上げた代表の藤井さんが、ワーカーズの楽しさを語ってくれました。



ふじいれみ 江別市出身。夫と息子2人の家族4人で楽しむクイズ研究は、趣味の域を超えている

転勤家族の子育て経験を背景に

我が家は夫の転勤が頻繁にあり、全国各地のNPOや支援センターにお世話になりながらの子育てでした。その中で、盛岡のNPOで手伝いをしていた頃「子どもの冬支度講座」を行う機会があり、「自分にもできることがある！」と感じたのが、子育て支援に関わる第一歩でした。

その後はサークルを主宰するなど精力的に活動していましたが、四日市に居た時に、大阪で母親が子どもを放置し死亡させる、という事件があったのです。当時通っていた支援センターの方が「このお母さん、実家は四日市にあるの。もしここに来ていたら救えたかもしれない」と話すのを聞いて、虐待という痛ましい出来事がぐっと身近に感じられました。この時「自分も何かしなければ」という気持ちが芽生えました。

ワーカーズで学びながら

札幌に越してきた3年前、知人から誘われて「ほっとまむ」に入会しました。ワーカーズでは、資格にこだわらず自分たちで勉強を重ね、やりたい事を実現していく姿勢がすごい！と思いました。また、普通ならお金を払って受けるような内容の研修に



おもちゃと遊びのひろば(厚別)

無料で参加できることや、「自分で決めて自分で行う」という目的と行動に一貫性があるやり方に魅力を感じ、自分に合っていると思いました。

入会時、すでに「ほっとまむ」は広域の活動を2つに分けることを決めていました。その片方を担う団体として、「ほっぺ」を自分の地域で立ち上げようと思ったのです。設立までは1年間ありましたが、会の活動の流れをはじめできる限りの事を吸収しようと必死で学びました。7名のメンバーにサポーターを加えてスタートし、現在は個人保育・集団保育・親子ひろば「ほっとたいむ」を行っています。また12月には「おもちゃと遊びのひろば」を開催し、産前産後の支援についても体制を整えたところです。

夢は尽きない

3月の設立から10ヵ月が経過しました。地域で「ほっぺ」を立ち上げたことで、役所との連携がとりやすくなり、必要な支援を具体的に考えられるようになりました。今楽しいのは、ひろばに来た親子が元気になって帰ってくれるとき。成長する子どもたちを、地域の中で家族のように一緒に見守っていけることも嬉しいのです。

子どもに限らず家族がまるごと笑顔になるような事業を広げていくためにも、まずは拠点を持ちたいですね。今後の活動としては、第2子以降出産時の上の子の保育などを考えています。他にも夜のひろばを開いて親子が集って食べる時間を持つなど、やりたいことは色々。ワクワクしています。

【取材 / 大内・綿谷】